

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策4 迅速に活動できる組織の運営
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	人事課長 本田 勝己	電話番号	0852-22-5022
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	組織体制の見直し		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	時代の変化に迅速に対応できる柔軟で活動的な組織を構築する。	
事業概要	必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築を図る。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	なし	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義	なし		実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%
指標名	なし		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	835	835
うち一般財源(千円)	835	835

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築に取り組んでいる。
 【平成27年4月1日の主要組織改正概要】
 1 課の再編：農畜産振興課、食料安全推進課を農産園芸課と畜産課に改組
 2 課内室の新設：子ども・子育て支援室（少子化対策推進室の改組）、建築物安全推進室

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 水田農業に係る施策の強化や、消費者ニーズに応えた付加価値の高い農産園芸作物の生産振興の推進、しまね和牛などの畜産振興に向けた課題への迅速な対応及び畜産危機管理強化のための体制を構築。（農産園芸課・畜産課）
- 子ども・子育て支援新制度への対応、少子化対策の強化のための体制を構築。（子ども・子育て支援室）
- 民間建築物の安全対策の推進のための体制を構築。（建築物安全推進室）

など

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
時代とともに変化し高まる行政需要への対応

②困っている状況が発生している「原因」
社会経済情勢の変化や多様化・高度化する県民ニーズの変化など

③原因を解消するための「課題」
時代に対応した効果的かつ効率的な組織体制の構築

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、必要な行政需要に対し、機動的かつ弾力的に対応しつつ、効果的かつ効率的な組織体制の構築を図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）